



『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市飯山満町1-836-5 ☎420-6511 FAX 424-8712

ホームページ <http://www5e.biglobe.ne.jp/~hiroei/>

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

東奔西走 (とうほんせいそう)・人こそ人の鏡

【東奔西走】・目的を達成するために、あちこちと走り回ること。

「奔」は「走」に同じ。東に走り、西に走る、の意味。

【人こそ人の鏡】・他人の言動を自分の手本にせよ、ということ。

他人の言動は自分を映す鏡。「鏡」には、模範・手本の意味もある。

長かった梅雨もようやく明けたようです。

休会中の議会は9月3日に開会しますが、それまでは議会活動はありません。現在は、9月議会へ向けて情報収集したり、地域や個人の陳情(25件)を受け『東奔西走』しています。



さて、最近、沖縄や長崎、渋谷等で低年齢の子供に関係した重大事件が連続して発生しています。この異常事態は、人間関係や親子関係、子供と地域との関係が希薄となっていることに原因があることは明らかです。6月議会ではそのようなことを心配して、次のような「学区の弾力化の功罪について」質問しました。

①平成11年に「通学指定校変更許可基準」の改正があり、

- ・指定されている学校より近距離にある学校に通学したい。
- ・指定されている学校に希望の部活がない。

という理由があれば、その旨を教育委員会に届け出て学校の変更が認められています。子供達の安全性や将来性を考えれば誠に有り難いことです。

しかし、この学区の「弾力化」を「自由化」されたと勘違いしたり、悪用(失礼)したりして、単純に「友達があな学校へ行くから自分も行きたい」というようなことで「希望の部活がないので」と



理由をつけて届け出ると、教育委員会はいとも簡単に「いいですよ」と認めている事実もあります。

また、飯山満中学校に本来入学すべき児童が129名いたのに、実際に入学した生徒は50名だった。38.75%しか入学してこなかったのです。10人のうち6人が学区外の学校に行ってしまったのです。



別の角度から見て、ひとつの町会・自治会、マンションから幾つもの学校に子供達が分散していってしまうと、子供達同士がだんだん疎遠になり、家庭と家庭の繋がりも薄れてきて、その集合体である町会・自治会組織が崩壊していくのではないかと危惧しています。

そこで教育委員会に伺います。(抜粋)

◇偽って入学したり、理由の部活を入学後直ちにやめた場合の措置は？。

◇入学する生徒数が明らかに減じている学校に対する方向づけは？。

◇現制度で、町会・自治会組織の崩壊は有り得ると思わないか？。

— 教育委員会の回答です。(抜粋)

◎今後の状況の変化に応じ、変更・改善していかなければならない状況にあることは理解している。

◎地域の教育力は、学校に通っている子供だけではなく、広く地域全体の子供達に発揮・還元されるものであるという考えから、地域を町会・自治会の範囲と限定したものは考えていない。ご理解ください。

— 私は「こんな漠然とした回答では理解できない。教育委員会のいう“地域”とはどの範囲か。“地域の教育力”とは何か。9月議会で再度質問する」ことにしました。

その回答は不満
である!!
9月に再質問する



②少し前までは当たり前だった「他人(ひと)の子もわが子と思え」という言葉が忘れ去られてしまったのかと嘆いていたら、ある新聞の投書欄に心温まる言葉が載っていましたので、ご紹介します。

「親の心構え」として、初めての子供のお宮参りで、宮司さんに言われたそうです。

「赤ちゃんの時は肌を離すな。幼時の時は目を離すな。子供の時は手を離すな。

少年の時は心を離すな」

というものでした。

『人こそ人の鏡』。正に我が意を得たりです。何でもかんでも行政が面倒をみるのが「いい社会」と思われがちですが、「今しかできない」ことを放棄しないで、子供の健全な成長に、何が大切かを真剣に考え取り組んでいかなければなりません。

「しつけは家庭にあり」です。自分の子供を注意されても「家でも叱ったことがないのに、何を言うか」ではなく「よくぞ叱ってくれました」と言える人間になりたいものです。そんな雰囲気当たり前の社会にしていきたいです。

